



慈愛の森



令和6年9月18日発行
文責：校長 小野明彦

より一人ひとりの実態に即した個別の相談と手立てを!

～ 学校評価ならびに全国学力・学習状況調査等を踏まえた今後の方向性 ～

1学期に保護者の皆様にもご協力いただきました学校評価の結果を、全国学力・学習状況調査や定期調査等の結果とも関連付けながら分析し、成果・課題としてとらえたことをお知らせします。

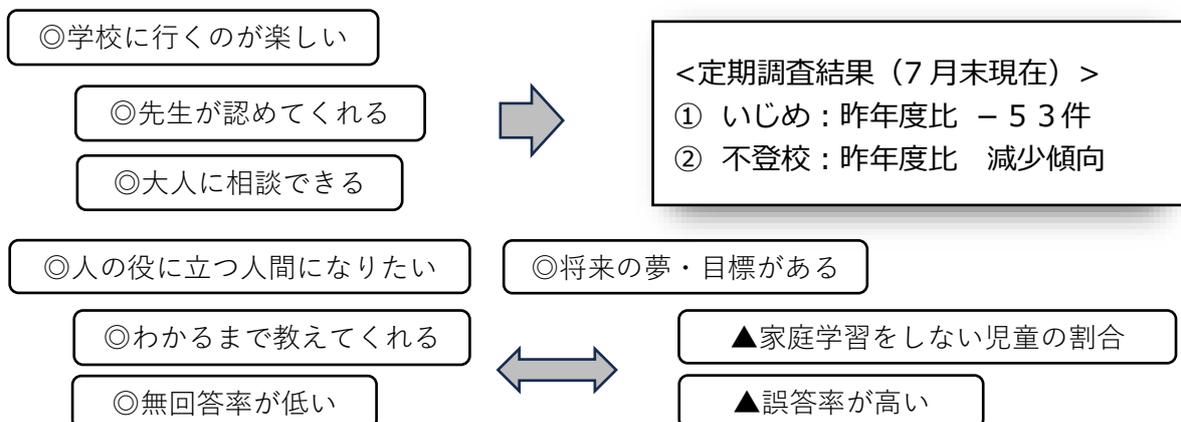
<評価基準>

4：よくあてはまる 3：だいたいあてはまる
2：あまりあてはまらない 1：ほとんどあてはまらない
0：よくわからない（保護者のみ）

- … 4評価+3評価が90%以上
- △… 4評価+3評価が80%以上～90%未満、または3評価が40%以上
- … 4評価+3評価が80%未満

	おおむね評価が高い内容			課題が見られる内容			
	児童	教職員	保護者		児童	教職員	保護者
学校は楽しい	○	○	○	進んで家庭学習	△	△	■
自己有用感・自己存在感	○	○	○	地域の行事・催しへの参加	■	△	-
考えを認める学習集団	○	○	-	進んで運動	△	△	△
悩みを相談できる	△	○	○	対話・振り返り	△	△	-
思いやりある行動	△	○	○	基礎基本の習得	△	△	△
自分で判断・合意形成	○	○	△	早めの退勤	-	■	-

【全国学力・学習状況調査（6学年対象／4月実施）の結果からも同様の傾向が見られたもの】



◆「学校は楽しい」「自己有用感・自己存在感が得られている」「悩みを相談できる」等の項目は、相互に関連性の高い項目ですが、いずれも高い評価を得ています。こうしたことが、積極的な認知を行っているいじめの数が減少し、学校に足が向かない児童が減少傾向にあることにつながっているととらえています。ただし、アンケートでは「もう少し先生との距離感が近ければ相談しやすいと感じる」との声や教職員の言葉遣いや態度についてのご意見もいただいておりますので、より一層温かく一人ひとりの児童に寄り添えるよう努力してまいります。

◆学校では「互いの考えを認め合える学習集団」として、楽しく落ち着いた態度で授業が進められていますが、「進んで家庭学習に取り組む」児童が、まだまだ少ないようです。アンケートでも「自分から進んで学習することができていない」「算数が苦手でわからないから学校に行きたくない」とつぶやいている」という声をいただいています。自分ごととしての家庭学習が習慣化されず、「基礎基本の確実な習得」がままならないことにより、特に算数のような学年ごとの積み上げが必要な教科の学力が身につかない児童の実態が見られます。今後も個々の実態に応じて、個別に相談を行い対応を検討してまいりますので、よろしくご協力願います。

◆ 教職員の働き方改革については、今年度、日課を工夫しているにも関わらず、遅くまで学校に残って仕事をしなければならない教職員の実態が依然としてあることから、校長として大いに反省しています。日々、疲労が蓄積していくことがないように、改めて業務内容の見直しと削減、業務負担の平準化に努めてまいります。保護者の皆様からも、アイデア等がありましたら声を届けていただけますと幸いです。

10月の主な予定



- 1日(火) バイキング給食(6年) ふれあい活動(中間休み) 委員会
- 2日(水)~8日(火) 短縮日課 個人面談
- 6日(日) 全日本小学生バンドフェスティバル東北大会(宮城県利府町)
- 8日(火) 学校集金日
- 9日(水) ALTalk Day(4年)
- 10日(木) 就学時検診
- 11日(金) 遠足(2年)
- 15日(火) クラブ ※3年クラブ見学
- 16日(水) 県社会科研究協議会(本校会場)
- 18日(金) 遠足(1年) 読書メディアコントロールデー いなほ号
- 22日(火) 薬物乱用防止教室 委員会
- 23日(水) はぐくみ絵本会読み聞かせ
- 24日(木)~25日(金) 修学旅行(6年)
- 29日(火) クラブ(※今年度最終) 町探検(2年)
- 30日(水) 校内授業研究会 代表委員会
- 31日(木) 教育相談

